

1	札幌くらぶサロンとクリスマスパーティ
2	演奏会を楽しく聴くために
3	楽譜支援、コンサート
4	楽員さんに興味津津12
5	稲橋賢二さん
6	JOFCに参加して
7	札幌と私、投稿
8	楽員さんコンサート・投稿 活動報告・編集後記

## 第16回札幌くらぶサロン&クリスマスコンサート

### トランペットが奏でるクリスマスの宵

12月18日18時より豊平館広間で札幌くらぶサロンが開催されました。  
 札幌前川和弘さんのトランペット演奏の後にパーティが開かれました。

#### 第1部 ミニコンサート

札幌トランペット奏者前川和弘さんとピアノ三春菜奈さん。

各曲の演奏前にトークを入れたらプログラムが進められた。ヴェランならではの余裕のある解説。空気が乾燥していて、トークと息継ぎの難しい楽器の演奏は大変なようであった。

#### 第2部 札幌へ楽譜支援金を贈呈

札幌くらぶは活動の一環として2006年から毎年50万円の楽譜支援活動を行っている。年会費三千円のうち五百円が楽譜支援となる。追加支援も募集していたので、私もわずかながらプラス五百円で毎年千円の支援を続けている。演奏回数

#### 第3部 ワインとイントロとビンゴ

ワインとビール、オードブルをいただきながら、楽団員さんをお交際のパーティ。前川さんと三春さんが私と同じテーブルに来て話す機会があつて良かった。たまたま前川さんからモーリス・アンドレの名が出た。金管楽器の歴史を変えた偉大なトランペット奏者は2002年にキタラに登場していたのである。ナカリヤコフの名も出して金管楽器演奏の難しさなど私の知っている表面的な知識を話したら同意してくれましたので嬉しくもあつた。

このあとに演奏された2曲はお客様も参加。前川さんから全員に配譜が経年劣化で使用に耐えられない

くなるものが増え、何十年もの使用が困難になる。初演時には楽譜を揃える必要もある。素晴らしい演奏支援は望ましい。

イントロでプロ並みの実力が必要で、私の隣に座ったキタラボランテイアの友人が殆どの曲を当てる確率の高さに驚いた。彼は第1回の札幌定期を聴いて50年もLPで音楽を聴き続けているクラシック・ファンだが、私とは音楽愛好のレベルが違う。彼の豊富な知識には感服していたが、音楽の詳しさのレベルの違いを改めて知った。曲名だけではない。

○小学校の時トランペットをやっていた。技術が凄いです。  
 ○あの曲が無いなあと思っていたらやっぱり最後はアヴェ・マリアでした。



札幌トランペット奏者 前川和弘さん

パーティを盛り上げる運営委員のプログラムも始まった。曲のイントロを聴いて曲名を答えるクイズ。最初のうちはほんの教音だけのイ



上田会長の音頭で乾杯

く、第2・3楽章のイントロ、曲の調性まで知っているのだから恐れ入った。10数曲のうち演奏会で聴いた曲もあり、演奏会をまるで振り返っているような気がした。12月恒例のビンゴゲームもあつて和やかに交流会が閉じられた。

#### 会員/大井輝男

#### 参加者からひとこと

○サロンには毎回出席しています。今回はクリスマスらしく楽しんでいる楽しかったです。

○何回も来ます。いつも楽しいです。クリスマスらしく楽しく演奏してくれました。

○今回初めて札幌サロンに参加しました。本当に楽しかったです。トランペットはクリスマスらしく良かったです

○今回会員の方の紹介で参加しました。楽しかったので札幌くらぶにも入会しました。

#### 次回サロンのご案内

3月5日(日)18時より

豊平館2階広間にて

札幌定期のプレトーク 八木幸三さん  
 札幌ヴァイオラ副首席青木晃一さんの演奏

お待ちしております！

# 演奏会を楽しく聴くために

八木 幸三 (札幌くらぶ顧問)

## 第597回定期演奏会

3月10日(金) 19:00  
3月11日(土) 14:00  
コンサートホール大ホール  
指揮 ラドミル・エリシユカ



### ラドミル・エリシユカ

### メンデルスゾーン

#### 序曲「フィンガルの洞窟」

自分の作品を見直し、改訂する作業は筆者の経験からいっても大切なことだ。以前ピアノ作品を30年ぶりに改訂したら、無駄と思われる部分が多くあった。メンデルスゾーンは、モーツァルト同様天才肌の作曲家だが、作曲は慎重で交響曲

など何度も改訂作業をおこなっている。

この作品もローマで一度総譜を完成させたが、2年後にロンドンで改訂して初演を迎えた。スコットランド北西沖にあるヘブリディーズ群島にある洞窟の印象を標題音楽的にまとめた作品だが、原典版は厚みのある極彩色な音楽が楽しめる。これに対し決定稿は、全体的な構成がすっきりと洗練された趣きとなっている。

ペリオーズは、ローマで完成された作品をメンデルスゾーン自身のピアノ演奏で聴き絶賛したが、近年のオーケストラによる原典版演奏もなかなか味わい深い。いずれにしてもワグナーがこの作品を聴いて「第一級の風景画家」と賞賛したその描写性は、洞窟の神秘性を十分に伝えてくれることだろう。

### シューベルト

#### 交響曲第5番 変ロ長調

親しい人たちと気軽に音楽を楽しむため、肩の力を抜いて作曲された作品の中から傑作が誕生することがある。まさにこの曲は、その代表例だ。天才肌のシューベルトは、「魔王」のように短期間で大傑作を

生む力を持っていた。ただ、歌曲の名曲を多く送り出した割に、器楽曲は結構苦労してつくられており、交響曲「未完成」「グレイト」など、彼の生前には演奏されなかった作品もある。

交響曲第5番は、アマチュア主体の小編成オーケストラによるさやかなコンサートのためにつくられ、19歳のシューベルトが、わずか一ヶ月あまりで完成させている。しかし、爽やかな楽想を持つこの曲は、時折ハイドンやモーツァルトの表情をのぞかせてはいるものの、シューベルトならではの清澄で美しい旋律に彩られている。

### ブラームス

#### 交響曲第1番 短調

映画「赤ひげ」の音楽が、この曲の4楽章に似ている話は有名だが、これは黒澤明が、音楽を担当した佐藤勝(留萌出身の作曲家)にベートーヴェンの「第9」のような音楽を付けて欲しいとの要望があった結果らしい。佐藤にとって、それが不本意であったかどうかは分からないが、この映画のヒューマニズムが音楽によって効果的に高まったことは確かだ。

ブラームスは、この第1番をベートーヴェンを意識しドイツ音楽の真正なる後継者をめざし、ベートーヴェンと同等かそれ以上の交響曲を書くために二十余年の歳月を費やして作り上げた。この曲は、確かにベートーヴェン風の交響曲である。悲劇的・闘争的な短調で始まり、最後の楽章はハ長調で終わるという「暗黒から光明へ」という「運命的な構成」や第1楽章の短い基本動機からの発展、第4楽章の「歓喜

の歌」を想起させる旋律など理由はいくらでもある。しかし、この曲はまさにブラームスそのものの楽想なのだ。曲全体は、北ドイツ人らしい暗さと深さを最後まで持ち続け、ブラームスらしい意図的にずらされた拍とフレーズがある。この曲を43歳にして完成させたブラームスの苦悩とあきらめ、さらには喜びという人生の深遠が彼自身の人間味と重なって創出される。

### ホルスト

#### 組曲「惑星」

筆者が中学生の時「木星」を吹奏楽で聴き、なんてカッコいい曲だろうと感激し、高校生の時、「火星」を吹奏楽部員として演奏し、非常に苦労した思い出がある。大学生の時、この曲を富田勲のシンセサイザーで聴き、宇宙の彼方へと飛んだ気分になった。

### コルンゴルト

#### ヴァイオリン協奏曲

コルンゴルトは、ハリウッド映画音楽の巨匠として「嵐の青春」(ロナルド・レーガン主演)、「ロビン・フッドの冒険」などでアカデミー賞

意の晩年をおくった。ヴァイオリン協奏曲は、彼の代表作で世紀末ウィーンの残り香を漂わせ濃密で抒情的な音楽語法で作曲されている。奏者にとっては、極

## 第598回定期演奏会

4月21日(金) 19:00  
4月22日(土) 14:00  
コンサートホール大ホール  
指揮 広上淳一  
ヴァイオリン ダニエル・ホープ  
女声合唱 札幌合唱団



広上淳一

©Greg Sailor



ダニエル・ホープ

©Harald Hoffmann

を受賞し、後のジョン・ウィリアムなどに大きな影響を与えている。10歳の時に作曲の才能をマラーに認められ、23歳の時に初演したオペラ「死の都」で世界的な名声を獲得した。しかし、オーストリアがナチスに併合されると米国の映画音楽に活動の場を移す。戦後は、「映画に魂を売った下等な作曲家」としてウィーンの楽壇から抹殺。失意の晩年をおくった。

ヴァイオリン協奏曲は、彼の代表作で世紀末ウィーンの残り香を漂わせ濃密で抒情的な音楽語法で作曲されている。奏者にとっては、極めて難曲だが、聴き手にとっては映画音楽のような耳に馴染みややすい作品に仕上がっている。

そんな青春を彩った組曲「惑星」は、第1曲の「火星」から「海王星」までの7つの曲からなり、作曲家自身は「諸惑星の占星術的な意義が着想のきっかけにはなっているが、標題音楽ではない。同じ名前の神話の神とも、なんら関係はない。それぞれの曲の副題が、広義に解釈されるならばそれで充分なのだ。」と述べている。確かに「火星」は戦争を、「金星」は平和を、「天王星」は魔術的雰囲気卓越したオーケストレーションで感じさせてくれる。

青木晃一 ヴィオリサイタル

冷静なソロと情熱のデュエット



12月16日 キタラ小ホール

ヴィオラの独奏から始まりまし  
た。青木晃一さんが一人、舞台上に登  
場。拍手のあと丁寧に譜面を置く  
と、一呼吸の間を置いて演奏が始  
まりました。J・S・バッハ…無伴

お客様の温かい雰囲気にお  
まかれて、気持ち良く弾き切る  
事が出来ました。なかなか演  
奏されないバックスのソナタ  
を演奏して、たくさんのお客  
様から好評を頂けて嬉しかっ  
たです。今後はオーケストラ  
での演奏と室内楽とソロをバ  
ランス良く弾いていこうと思  
っています。  
どうぞよろしくお願ひ致し  
ます。  
青木晃一

奏ヴィオラ組曲第6番 ト長調。A・

バックス・ヴィオラとピアノの為の  
ソナタ。そしてP・ヒンデミット…  
無伴奏ヴィオラ・ソナタ。最後はプ  
ラームスピリアノとヴィオラの為の  
ソナタ第2番 変ホ長調。プログラ  
ム構成についても、ただ「すばらし  
い」と感嘆するだけです。青木さん  
は驚くほど広い音域を披露してい  
ました。縦横無尽に駆け巡る指使い  
に聴衆は魅せられるばかりでした。

ヴィオラとピアノがそれぞれに力  
強く音楽を紡ぎながら小ホールに  
映えていました。そして田島ゆみさ  
んのピアノが美しい。「冷静と情熱  
の間」のコンサートでした。  
終了後、ロビーでは緊張が解けた  
二人の笑顔がありました。

会員/塚田 総



青木晃一さんと田島ゆみさん

妙夢コンサート

10月27日

札幌駅のホールに響く札幌の音



札幌のホームページに「J R  
TOWER 妙夢コンサート」のお  
知らせが載っていたので、さっそく  
聴きに行きました。

「妙夢コンサート」は札幌駅総合  
開発が開催していて、2003年か  
ら行われているそうです。このコン  
サートには札幌の楽員さんだけで  
なく他のいろいろな方々が出演さ  
れて、もう142回になっているそ  
うです。彫刻「妙夢」は札幌駅南口  
西側コンコースにあり、キタラで出  
迎えてくれる「相響」の彫刻の作者  
である安田侃さんの作品です。その  
彫刻の前で開かれるこの演奏会は  
生の演奏、札幌の楽員さんに近くで  
出会えることのできるとてもいい  
機会です。

この日(10月27日)は札幌トロ  
ンボーン奏者の山下友輔さん、田中

徹さん、野口隆信さ  
ん、そしてピアノは  
二階堂瑞穂さんの  
演奏でした。午後3  
時から30分間、田中  
さんの楽しいお話  
にみちびかれ、「ひ  
よっこりひよっ  
たん島」などの楽しい  
曲や「TUNAMI  
I」などの心に沁み  
る曲が演奏されま  
した。札幌駅の大き  
な吹き抜けの空間  
に高らかに響いて  
いました。

12月20日



12月20日は札幌ヴァイオリン  
の三原豊彦さん、コントラバス大澤  
敬さん、クラリネット多賀登さん、  
フアゴット村上敦さん、ホルン折笠  
和樹さん、トランペット佐藤誠さ  
ん、トロンボーン田中徹さん、打楽

楽譜支援事業の報告

今年度も50万円を支援することができました。

会員の皆さん、ありがとうございました！

バッハ	クリスマス・オラトリオ	2017年12月定期
モーツァルト	協奏交響曲	2017年8月定期
メンデスゾーン	交響曲第3番	2018年1月定期
モーツァルト	交響曲第39番	2017年6月定期
モーツァルト	交響曲第40番	2017年6月定期
モーツァルト	交響曲第41番	2017年6月定期
ベートーヴェン	交響曲第5番	2018年2月名曲
ベートーヴェン	交響曲第6番	2018年2月名曲
ワーグナー	ジークフリートの葬送行進曲	2016年11月定期
スメタナ	3つの踊り	2016年10月定期
シューベルト	交響曲第8番	2016年7月定期

札幌くらぶ上田会長から  
永井専務理事へ目録贈呈



会員/塚田 中居

器藤原靖久さんの総勢8人です。  
クリスマス・オラトリオのこの日、会  
場は雑踏とはかけ離れた異空間で  
した。金管主体の透き通る音色は立  
ち止まる多くの方々を優しく包み  
込んでいました。駅頭の氷点下に対  
して、温かい音色がそこだけに、眩  
しく彩っていました。

♪ 楽員さんに興味津津!

12

♪

## ♪ コントラバス奏者 稲橋 賢二さんに聞く

### ♪ 「ヴァイオリン！」

高校までは仙台で過ごしました。両親は今も仙台にいます。最初に音楽と出会ったのは幼稚園の時です。「東北音楽学校」というような名前の学校の附属幼稚園でした。そこで

は幼稚園なのに、英語、体育、音楽など選択科目がありました。いろいろあつて、母に「何がやりたかったの、上達しませんでした。レツスン前にちよろちよろつとやるオリソ！」と答え

たらしいです。母は音楽を聴いたり、はしらないですが、若い時からジャズダンスが好きだったようです。ところが、家庭の事情か何かで自分はそのが出来なかつたので、子供には希望通りに好きなことをさせてやりたいと思つたみたいです。

仙台の中高一貫校をめざして

### ♪ こんなに低い音が・・・

ヴァイオリンは自分でやると言つたわりにはあまり練習もしなかつたので、上達しませんでした。レツスン前にちよろちよろつとやるオリソ！」と答え

たらしいです。母は音楽を聴いたり、はしらないですが、若い時からジャズダンスが好きだったようです。ところが、家庭の事情か何かで自分はそのが出来なかつたので、子供には希望通りに好きなことをさせてやりたいと思つたみたいです。

中学校は進学校でした。勉強がメインの学校でしたが、部活動も盛んでした。僕は最初のうち、体操部で器械体操をやつていましたが、バンドをやりたいと、エレキベースを始めました。その後、エレキベース

とコントラバスの指使いというか、弦の押さえ方が似ているらしいことを聞いて、コントラバスもちよつとやってみようかと思つて、中学2年生から吹奏楽部に入りました。指使いが同じならエレキベースの練習にもなるかな、一挙両得と思つたのですが、

実際に指の使い方は全然違つていました。コントラバスは楽器が大きい分、

音が広いので、低い音を出す時は薬指は使わず、人差し指、中指、小指の順に押えるんです。エレキベースだと楽器が小さいので、薬指も広げて使うんです。結局、コントラバスの方が面白くなってきて、エレキベースはやらなくなつてしまいました。コントラバスは大きくて、どうしても小さな楽器にしなかつたんだろう

### ♪ 何度も受けて何度も落ちて

その後、愛知県立芸大に進学しました。当時住んでいた部屋では楽器を弾くことはできませんでした。自分の楽器は大学に置きっぱなしに

## 低音の面白さにひかれて



### プロフィール

宮城県仙台市出身。14歳よりコントラバスを始める。2006年愛知県立芸術大学卒業。同年、卒業演奏会に出演。また、アドヴェントセミナーに参加。08年桐朋学園大学研究科修了。これまでにコントラバスを河野昭三、村上満志、星秀樹の各氏に師事。12年6月1日、札幌交響楽団に入団。

6歳の時ヴァイオリンを弾いていました



して練習をしていました。

卒業後は2年間、桐朋学園大学研究科に籍を置きました。この間オーケストラに入るために、片っ端からオーディションを受けていました。僕が音大を卒業した頃は団塊の世代の人たちが退団する時期だったので、オーディションはいっぱいありました。それでも、何回も受けて何回も落ちました。東京はもちろん、北は北海道から西は広島まで受

## ♪ 弾くと泣かれる…

結婚したのは2014年です。妻も桐朋で同じくコントラバスを弾いていました。春に子供が生まれま

した。男の子で7ヶ月になりました。僕が練習を始めると泣くんです。ちよつと前までは泣かなかつたのに、今は分かるようになったんでしようかね、大きな音が怖いみたいで掃除機もダメなんです。どの部屋で弾いても聞こえちゃうみたいなので、どうしても弾かなければならない時はカラオケボックスで練習するようにしています。おかげで練習時間は減りましたね。

家で弾く楽器と札幌で使っている楽器は違います。高さはどちらも2メートルくらいなのですが、厚みとかボディの大きさが結構違います。特に弦長(げんちよう)、弦の長さがかなり違います。オーケストラでは大きな音量を出す必要があ

けに行きました。

札幌のオーディションは一次試験がテープ審査でした。これには合格。二次試験は2012年3月に芸森で行われました。3月だからたぶん大丈夫だろうと思つて来たのですが、まだ雪がいつぱいあつて楽器を運ぶのがとても大変でした。キャリーを引くと雪をドンドン集めちゃつて前に進まなくなるんです。結局、担いで行きました。

りますので、大きな楽器が使われることが多いです。コントラバスの弦の数はもともと4本ですが(①)、5弦のコントラバスもあります(②)。5本目の弦を付けても張力が耐えられる4弦の楽器であれば、エクステンションという棒を付けて弦を1本足し、無理やり5弦にして低い音を出したりもしています(③)。僕が札幌で使っている楽器はエクステンションがついている4弦の楽器だつ

たのですが、演奏の時に手に当たつてしまうことがあつたので、楽器屋さんにお願ひして、外してもらいま

## ♪ コントラバスはパワフル

札幌は楽員同士の仲がいい気がしますね。東京では僕がエクストラだつたせいかもしれませんが、なんとなく距離があるように感じていました。札幌で最初に思つたのは、コントラバスの人たちが結構パワフルだあつて、もうドーンという感じでびつくりしました。今もそう思います。

僕が入団してまもなくの頃に、「火の鳥」をやつたんです。子守歌の部分でファゴットがソロを吹いて、僕らは伴奏をやるんですけど、

した。一番低い音が必要な時は1オクターブ上げて弾いています。

ドイツといつて、みんなが同じことを弾くのではなく、コントラバスの中だけでも何パートかに分かれていました。僕はピチカートでブーンとやる役割だつたんですが、練習の時に「もつと出して、もつと出して」って言われるんです。入団したばかりだったので、やつぱり怖くて、踏ん切りがつかないでやつていました。本番の時にもうややくそみみたいな状態になつて、周りのことを気にしないで集中してやるうと思ひました。自分としてはうまくいったなと思つていたら、

大澤さんがすぐに握手してくれました。「ああ、良かったんだ！」と思ひました。失敗ですか？ポウイングを間違えることかな？数え間違えて出ちゃつたとか…。意外とバレないですけど、セクシヨンの人には苦笑いされます。練習中に急にポウイングを変えたりすることがあつたりすると、前のやり方で弾いてしまつたりしますね。

札幌はいいですね。雪かきがちよつと困りますけど、川が好きなので澄川に住んでいた頃は、ギターから豊平川を見ながら歩いて帰つたこともあります。家ではあまり何もせず、ただぼつとして、テレビを見て、お酒を飲むのが結構好きです。今は子供と遊ぶのが一番楽しいですね。

もう少し子育てが落ち着いて、家でも練習が出来るようになったら、リサイクルをやつてみたいですね。アンサンブルもやつてみたいし、コントラバスのリサイクルもやつてみたい。コントラバスだけのデュオ

ロとコントラバスが始まつて、結構目立っていますね。

好きなのはブラームスの曲です。「ブラー」では最初にティンパニとコントラファゴットとコントラバスでドの音をドードードードードードーと弾くのですが、あれが楽しいですね。

指揮者で好きなのはスクロヴァチェフスキ、お年の方なんですけど、すこつたですね。それから、テルミカーノフ。オーケストラにはそれぞれ個性があると思うのですが、指揮者によつて色々な音がします。札幌でもPMFでファビオ・ルイジが来たときには、全然違う音がしたように感じました。ブラームス

## ♪ もっと力になりたい

やカルテットもあるんですよ。子供向けの演奏会もできたらいいなと思ひます。子供が生まれて気づいたのですが、小さな子供を連れて親子で出かける場所って少ないなあ…。あとはやつぱり、オーケストラの方をさらに頑張つて、もつと力になれるようになりたいと思つています。

2016年10月22日

テラスレストランキタラ  
担当/井上・村山・塚田・中居



① まももも4弦のコントラバス



② 5弦のコントラバス



③ エクステンションという棒を付けて5弦にしたコントラバス



妻と介護施設で演奏した時

の「4番だつたかな。指揮者で全然変わるんだなあと思ひました。

## 第10回JOFCC(日本プロオーケストラファンクラブ協議会)名古屋大会

11月19日(土)にJOFCCの総会が開催されました。札幌くらぶからは

17名が総会、名古屋定期演奏会、懇親会に参加しました。

### JOFCCに参加して考えたこと

若手の優秀な演奏家は多く輩出されているのに、次世代の聴衆が育っていないといわれて久しい。ここしばらくの間、クラシック音楽の演奏会場では中年以降の高齢者ばかりが目立ち、若者の姿はまばらだ。音楽先進国ドイツでも事情はさらに深刻のようであるが、いずれにせよ僕の専門分野である農業領域と同様、後継者の確保はクラシック音楽界全体の喫緊の課題である。

なかでも、地域社会の活性化に大きな役割を担っているオーケストラ。しかし、首都圏は別としても、地方のオーケストラ関係者の危機意識は強く深い。そうした中、札幌からぶの働きかけで組織されたJOFCCの第10回総会が名古屋で開かれた。年1度の開催であるが、僕にとっては初めての参加である。

### 地域文化の象徴としてのオーケストラ

日本でのプロ・オーケストラ活動の歴史は古いうで新しい。NHK交響楽団と東京フィルハーモニー交響楽団を除いて、多くは第二次世界大戦後に設立された。特に地方オーケストラは経済の高度成長に歩調を合わせて産声を上げたものが多い。かなりの数を占める。明治維新以来目標とされた西欧流のライフ・スタイル、ヨーロッパ的文化の定着に加え、物質的豊かさが飽和点に達したあとの精神的充足を求める機運の高まりの当然の帰結かと思われる。

1960年代から70年代、僕の記憶によれば、創設期の札幌交響楽団の演奏会場には初々しいまでの

期待感が満ち溢れていた。オーレル・ニコレ(フルート)やアンドレ・ワッツ(ピアノ)等の大物の登場も生演奏に接する喜びに彩りをそえた。オーケストラは文化活動のエネルギーを象徴する存在として脚光を浴びていたのだ。特に地方では、しかし、夢を追い求める試みは一直線には進まない。その理由を分析するためには、相当の時間とエネルギーを必要とするのであろうが、娯楽の多様化と、不均等な経済の発展が特に地方から活力を奪ったことの結果なのであろう。次世代の聴衆確保に暗雲がたちこめているのだ。

### 総会での

### 熱気あふれる交流

そんな思いを抱いての、JOFCC第10回総会への出席であった。趣味を同じくする者、同様の課題意識を抱く者同士の交流は緊張を強いられるものの意義深い。

11月19日の和気あいあいとした幹事会、総会では今回の開催地(金沢市) 2017年11月18日

が決定されるとともに、総会参加を容易にするための規約改正の実施、各団体に顧問を置くこと活動推

名古屋メンバーによる

室内楽演奏



トホールは、座席にたどり着くまでの勝手が若干悪く、音響も札幌コンサートホールに比べ鮮明度に欠けるなどの印象を抱いたが、コンサートは満足すべきものであった。僕の大好きなブラームスのピアノ協奏曲第1番が採り上げられるなど、曲目がよかった深い充実度を誇る名曲なのに、シヨパン、ラフマニノフ、チャイコフスキーの協奏曲にくらべてなぜ演奏される頻度が低いのだろう。独奏者のゲルハルト・オピッツ氏はコーリン・デイヴィス指揮/バイエルン放送交響楽団とのCDでこの作品を手の内に入れていたが、16型の大きな編成のオーケストラ・サウンドに埋もれることなく、存在感を主張していた。彼は骨格のがっちりした作品で本領を発揮する。そして温もりに包まれた音色(おんしよく)。厳格な構成の谷間から、かげろうのように立ち昇る情熱が作曲者青年期の作品に品格を漂わせていた。

一通りの行事が終わった後の懇親会は、いつもながら最高の喜びなかもかもしれない。翌日の演奏会のための制約がきついなか、小泉氏とオピッツ氏が会場にかけつけ、歓迎のスピーチを述べてくれた。オピッツ氏は日本語を交えてのサービスぶりであった。名古屋フィル・メンバーによる、比較的珍しい室内楽曲の演奏も会場の雰囲気の花を添えた。名古屋の関係者のきめ細かな運営と配慮に感謝しつつ、時の流れの心地よさを楽しんだ。

### JOFCC活動に期待

札幌交響楽団の例をあげるまでもなく、日本各地のプロ・オーケストラの技術水準は草創期にくらべて、飛躍的に向上した。専用ホール等のインフラも高い次元で整備された。あとはオーケストラに接する喜びを若い世代に伝え、彼らの関心とニーズを掘り起こすことである。僕自身、地域の活性化に多くの貢献を果たしているプロ野球やサッカー・チームの支援体制をも学びつつ、JOFCC活動を通してこうした課題について少しでも知恵を出せればと考えている。

そんな思いを抱いての、JOFCC第10回総会への出席であった。趣味を同じくする者、同様の課題意識を抱く者同士の交流は緊張を強いられるものの意義深い。

### 手こたえ満載の

### 演奏会

僕にとつて最も意義深かったのは、初めて名古屋フィルの定期演奏会に立ち会えたことである。定員1800の愛知県芸術劇場コンサート

は、初めて名古屋フィルの定期演奏会に立ち会えたことである。定員1800の愛知県芸術劇場コンサート

会員/村岡範男

### 最高の幸せ〜札幌演奏会〜

第594回札幌交響楽団定期演奏会が終わって二日後のことです。札幌在住の先輩と札幌市内で食事しました。この先輩は音楽愛好家ではありません。

「なしてわざわざ大阪から札幌まで来て音楽聴くのさ？」

「とつても幸せだから。」

「どういうこと？」

「ここ札幌には他にはないものが山ほどあるんですよ。」

「何さ？」

「演奏家の方々と聴く人たちの一体感、どこでもあるにはありませんけど特別なんですよ。より近くて暖かな空気感。」

「でさ、エリシユ？指揮者さ、何がすごいのか？」

「ラドミル・エリシユカさんね、普通、力強くエネルギーシユなものの中に優さの美の存在などを感じるようになって来ますか？」

「何が言いたいのさ？」

「エリシユさんの音楽の中には普通には同時に存在できないようなものがあった、音楽の深さ、広さ、大きさと、いったものを教えてもらえるんだよね。そして自分を見つめ直すことにも繋がるんだ。もちろん、それを札幌さんという立派なオーケストラが具体的な音、音楽として表現して僕の

ような感性の低い者にも伝えてくれるっていう訳ですよ。」

「それで？」

「世界最高の音楽美がここ札幌にはあると思うんですよ。」

「そこまで言うんだ。」

「いや、もつと言いたいですよ。中島公園を通ってホールに入れる

幸せ、そして、そのキラキラというホールの素晴らしさ、いいですよね。」

「札幌って実は音楽環境もよいつてことか？」

「そうですね。確かに東京、大阪に比べるとコンサートの回数は少ないですよ。ただその分、音楽産業のマイナスウエーブを札幌

#### 投稿

#### 興味津津を読んで

「札幌くらぶ」の会報はたまに見せてもらうだけだが、76号は紙質も良くなって、色刷りになったので、全部読んだ。

岡部亜希子さんの記事に「父がNHKの」とあって、あつとおもったら、やっぱりあのえくぼが可愛い(失礼)岡部記者のお嬢さんだった！昔からニュース解説などでよくお目にかかっていたが、今は土曜の朝の番組、「ニュースで英会話」に鳥飼久美子さんといひコン

は受けていないと思えますね。コンサートを消費している感じが全くない。それもついつい札幌に音楽を聴きに来てしまふ一つの理由です。」

「そうなんだね。」

「先輩ぜひ一度札幌さんのコンサート、「一緒にませんか？」

「そうだなあ。」

「まだありますよ。」

「おいおい、美味しいものが冷めるぞ。」

帰阪した今も札幌サウンドが頭の中で鳴っています。また札幌に行き、札幌さんを聴く計画を楽しく考えています。札幌さんに感謝であります。心よりお礼申し上げます。

#### 大阪在住の札幌ファン ／黒田純平

びで出ていらつしやる。

私は今更英会話を学ぶつもりは無いが、騒々しい番組の多くなったテレビ番組の中で落ち着いて気持ちよく見られる貴重な番組だと思う。なんとなく勝手に親しみを覚えていた岡部記者のお嬢さんが札幌の楽員と知って一層親しみを感している老婆です。

惜しむらくは写真が暗いのが気になります。ライトを増やすなり反射板を使うなりして、せつかくの美人をもっと明るく撮って貰いたいものです。 会員候補の姥姥

昭和36年(1961年)10月、私は京都に住んでいたが、所用のため札幌を訪ねるのでぜひお会いしたいと、設立間もない札幌市民交響楽団の事務局を担当しておられた太田泉さんに連絡したところ、10月30日に演奏会があるので聴きませんか？と招待を受け、第2回定期演奏会を札幌市民会館で聴かせていただく僥倖に巡り合うことになった。荒谷正雄が指揮し、諏訪根自子のヴァイオリンでメンデルスゾーンの協奏曲などを演奏されたが、私はそれ以来の札幌ファンと自任している。太田さんとは、大学は異なるが、合同演奏会で一緒にホルン(太田さん)とトランペット(川端)を吹いた仲で、それ以来親交が続いている。

### 札幌と私 心に残る数々の名演と

ね、岩城さんが東京芸術大学の学生時代に、私たちの大学のオーケストラでドヴォルザークの「新世界」のティンパニを叩いていたいたことがありますが、その強烈、明快なリズムに衝撃を受け、全身痺れる感動を受けたことを演奏会当日(昭和27年12月1日)のプログラムのメンバー表をお見せしてお話したところ、そうだったねと思いついていただき感激した思い出がある。

札幌創立40周年英国公演鑑賞ツアーには同行出来なかったが、その壮行演奏会「英国公演記念演奏会」を聴いた。平成13年(2001年)10月12日、キタラで、10月30日のロンドン公演と同一プログラムであった。指揮は、英国BBC交響楽団から桂冠指揮者の称号を受けておられる尾高忠明であった。

札幌50周年ヨーロッパ公演(平成23年5月)については、道新観光が設定した4つのコースのうち、私は、イタリアのミラノ公演(会場はテアトロ・ダル・ヴェルメ)を聴くコースに参加した。指揮は尾高忠明、ヴァイオリンは札幌と初めて共演する諏訪内晶子で、曲目は、ブルツのヴァイオリン協奏曲第1番、チャイコフスキーの「悲愴」などであった。ミラノでは事前のPR活動が不足したようで聴衆は少なかったが、エキストラを加えて100名に近い大編成の札幌が見事なアンサンブルを披露し、とくに「悲愴」4楽章の弦のピアノシシモの美しかったことが印象に残っている。

札幌台湾公演(平成27年3月)はまだ記憶に新しいが、その最終公演は、台南市政府が主催する国際イベントの一つとして都心公園の仮設舞台で約3000人に膨れ上がった聴衆を前に行なわれ成田達輝によるヴァイオリンの珠玉の名曲に加えてドヴォルザークの8番が演奏された。フィナーレを飾るアンコールはお決まりのラデッキー行進曲、スタンディング・オベーションは公園全体に大きく波打ちこぼしました。尾高さんの12年にわたる音楽監督時代は、このように最高の盛り上がりの中に終わり、尾高さんへの感謝の気持ちとともに札幌ファンとしてこの場に居合わせた幸せをしみじみと感じた。

平成29年度の札幌定期のプログラムが決まり、第600回定期は首席指揮者ボンマーによるモーツァルトの三大交響曲、その他多彩な指揮者、独奏者による札幌初演を含む意欲的な演奏が繰り広げられる。来年度の札幌も楽しみが尽きない。

会員／川端智太郎

「地震1年後に熊本の  
「復活」を祈るコンサート」  
が開催されます！  
チケット等詳細は同封の  
チラシをどうぞ

音楽の「力」で熊本の復興を！  
地震1年後に  
熊本の「復活」を祈るコンサート



一昨年にスタートいたしましたカルテットです。ベートーヴェン全曲演奏を目標に活動しておりますが、今回は初の後期四重奏曲！皆様のご来場をお待ちしております。



ロメウス弦楽四重奏団  
3月1日 19:00~  
北海道立文学館  
チケット 2,000円  
(学生 1,000円)

札幌ウイオラ 物部 憲一



古楽への誘い Vol.8  
2月12日 13:30~  
日本福音ルーテル教会  
札幌北礼拝堂  
チケット 2,000円

スタッフの活動報告 2016年10月~12月

- 10月15日(土)  
第594回札幌定期演奏会  
「札幌市内中学校吹奏楽部招待事業」実施  
藤野中、石山中、八条中 計81名招待
- 10月24日(月)  
会報「札幌くらぶ」第76号発行
- 10月28日(金)  
第7回運営会議開催
- 11月19日(土)  
JOFC名古屋大会 総会・交流会参加  
名フィル第440回定期演奏会鑑賞
- 11月26日(土)  
第595回札幌定期演奏会  
「札幌市内中学校吹奏楽部招待事業」実施  
上野幌中、新陵中、手稲中 計95名招待
- 11月28日(月)  
第8回運営会議開催
- 12月18日(日)  
第16回札幌くらぶサロン開催、74名参加
- 12月21日(水)  
第9回運営会議開催  
(詳細は札幌くらぶホームページ)

投稿  
W会員になりませんか？

W会員(仮称)とは「金曜日夜公演」と「土曜日昼公演」双方の定期会員のことで。改めて申し上げるまでもなく、同じ演奏は二度とあり得ません。たとえ指揮者・オーケストラが同じでも演奏は毎回異なります。そこが生演奏とCDの大きな違いです。定期演奏会を2日連続して聴く主なメリットは、①1日目の緊張感のある演奏(特に札幌と初共演の指揮者・ソリスト)と2日目の少し余裕のある演奏との対比が魅力(2日目が良いとは限らない)②珍しい曲については2回聴くことにより、より身近な曲となる。③ソリストのアンコール曲が楽しめる。(別の曲の事が多い)④札幌からの素敵なプレゼントがある。⑤について少し説明します。

札幌主催のコンサートのなかから希望する1公演の「ペア招待券」が頂けます。私は毎年12月の『第九』と3階RCブロックで更新しました。

札幌の指揮者は、マックス・ボンマーを中心に、ラドミル・エリシュカ、尾高忠明に今年度から佐藤俊太郎、垣内悠希が加わり、更に今年度(4月)からは、広上淳一が「友情客演指揮者」に就任します。私は他の指揮者陣を知りません。

W会員になるなら更新時期の「今が絶好のチャンス」です。(3月末まで)

会員/佐藤高明

編集後記

▼11月JOFC名古屋総会は楽しかった！1年ぶりに全国ファンクラブの顔を合わせ、「若年層へのクラシック音楽普及には？」議論も白熱。名フィルとゲルハルト・オピッツさんの「ブラームス/ピアノ/1番」ブラボー！響きはキラキラの勝ち！ (吉武)

▼秋のコンサートシーズンが始まり、ソロ、デュオ、トリオ、カルテット、オケといろいろなコンサートがあります。今までこんなに演奏会があることを知りませんでした。演奏会が増えたのかも！と思っっているうちに次は第9の日。クリスマス、ニューイヤート駆け足で過ぎて行くのでしよう。今日は大雪！ (神)

▼定期演奏会の来期のラインナップが発表され、それを見て私は思わず「凄い」と口に出してしまいました。すばらしい指揮者やソリストたちがずらりと並んでいるのです。こんな最高峰のアーティストたちの演奏を札幌の定期で聴けるなんてとても幸せなことです。定期会員でない方、是非会員になりましょう！ (み)